

第6事業年度（平成28年度）事業報告書

（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

I. 事業の実施状況

1. 奨学金助成事業

当財団は、昭和52年2月に故榎山純三の私財を投じて設立されました。設立40年目を迎えた本年3月には第37回目の大学奨学生40名及び第32回目の外国人留学生大学院生6名の卒業生を社会に送り出すことが出来ました。下記の当年度採用学生を含めると大学奨学生採用者は累計2001名、外国人留学生は255名となりました。

(1) 奨学生募集・選考

当年度も推薦依頼大学40大学と設立者出身地の小諸市教育委員会に、当財団の採用基準に従い、学内選考を行ったうえでの推薦をお願いしました。

留学生については、7大学に大学院生（修士、博士課程）の推薦をお願いしました。

①学部学生

第40回奨学生として39名の応募があり、書類審査の結果39名合格。5年間続けてきました東日本大震災特別枠については該当者なし、また神戸大学及び小諸市教育委員会からも該当者なしの返答がありました。

②私費外国人留学生大学院生

第33回外国人大学院留学生として7名の推薦がありました。書類選考と面接選考の結果、推薦者7名全員が合格したので採用しました。

③寄宿舍生（榎山奨学会館）

平成24年度より始めた無償貸与の寄宿舍奨学生5名（外国人留学生大学院生）の面接を行い、入居希望等を聞きました。（寄宿舍貸与大学→東京大学、上智大学）

(2) 奨学金支給

①継続審査（学部学生2.3.4年生・外国人留学生大学院生2年目）

継続給与対象学生から提出された書類に基づき審査した結果、第37回生42名、第38回生41名、第39回生39名 合計122名に対し継続給付を決定し、1人月額4万円を給付、継続の外国人留学生大学院生6名に対しては1人月額12万円を給付しました。

②学習奨励金支給

選考委員による継続審査結果に基づき、在籍現役奨学生の成績優秀者9名に奨励金を支給しました。

この結果、新規採用学生、継続学生への奨学金総支給額は96,580千円となりました。

(3) 交流活動

①新入生歓迎レクレーション

平成 28 年 6 月 27 日（日）開催場所：檜山奨学会館新館 新入生全員参加
財団設立者の経歴、設立の趣旨及び財団の歩み、奨学金給与規程の説明等を行いました。

②第 24 回 留学生会合

平成 28 年 8 月 31 日(水)～9 月 1 日(木) 旅行先：北陸・金沢と福井方面
金沢 21 世紀美術館、妙立寺、永平寺等見学しました。

中国、韓国、モンゴル、台湾、リウカからの留学生男 11 名、女 9 名参加

③第 40 回 全国会合

平成 28 年 10 月 9 日(日) 開催場所：スクワール麴町（四ッ谷）
長年開催場所としてきた日本青年館が建て替えのため使用不可となった為に
27 年度より日帰り開催となりました。

出席者：1 年生 36 名、2 年生 34 名、3 年生 33 名、4 年生 35 名、留学生 14 名
全国の檜山奨学生が集う年一度の会合で当財団役員・選考委員・大学関係者等との懇親をはかりました。これは学生企画会議を開き行事内容等を決めています。
この全国会合席上で継続審査結果の現役奨学生成績優秀者 9 名に奨励金を贈呈し、表彰しました。

④卒業を祝う会

平成 29 年 2 月 4 日（土）開催場所：ホテルニューオータニ 出席者 32 名
財団設立 40 周年を記念して今回の「卒業を祝う会」はホテルニューオータニで行いました。理事長自ら最後の奨学金と記念品を手渡しました。

⑤財団設立 40 周年記念 OB 会

1977 年（昭和 52 年）2 月の設立からちょうど 40 年になったのを記念し、今年度の OB 会は関東・関西合同 OB 会として開催しました。住所が判明している日本及び海外に在住している全ての奨学生 OB に呼びかけました。

2 月 4 日（土）ホテルニューオータニで開催しました。第 1 回生から第 36 回生迄の全ての回から出席があり総勢 320 名でした。

卒業後も年代や国の垣根を越えて末永い交流が続くようにと願いました。

(4) 会報

当財団の会報誌「かしの芽」を年 2 回（第 80 号、第 81 号）発行しました。

2. 檜山純三賞事業

(1) 表彰事業

財団設立 30 周年を記念して設立。社会科学分野の現代アジア研究の著書の表彰
この賞は 5 名の選考委員による檜山純三賞選考委員会で決定します。

第 11 回檜山純三賞表彰 平成 28 年 11 月 10 日(木) 開催場所：ホテルニューオータニ

学術書賞 『現代インドのキャストと不可触民 ―都市下層民のエンゲラフイー』
鈴木 真弥 著 出版社 慶應義塾大学出版会

一般書賞 『台湾とは何か』
野嶋 剛 著 出版社 株式会社筑摩書房

(2) セミナー助成事業

現代アジア研究者による学問的に水準の高い研究会・シンポジウムに対して「檜山セミナー」として資金助成をする事業を今年度から始めました。

第1回 開催申請者：一般財団法人アジア政経学会

開催日：平成28年6月19日（日） 幕張国際研修センター

題目：中国研究と中国の将来 ―日欧研究者の対話―

II. 財産の状況

(1) 基本財産について

基本財産は株式会社ワールド・ホールディングス株式 8,710,970 株を主とし、定期預金並びに世田谷区代沢所在の土地 1,652.89 m²です。

本年度は基本財産である株式会社ワールド・ホールディングス株式の配当が1株につき24円でした。

(2) 特定資産について

公益目的保有財産、資産取得資金、及び特定費用準備資金として積み立てています。正味財産増減計算書内訳表において、公益目的用財産として積み立てている金融資産の運用益は公益目的事業会計に、また管理用財産として積み立てている金融資産の運用益は法人会計に掲載しています。

現在の積立金額は財産目録記載の通りです。

当期支出は事業費、管理費とも予算内の支出となっています。

以上の結果、正味財産期末残高は1,008,930万円となっています。

III 管理運営の状況

役員会等に関する事項（理事会、評議員会）

①第15回理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成28年5月18日（水）

理事の同意書：理事6名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・第5期事業年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）事業報告及び計算書類の承認
- ・定時評議員会開催の招集
- ・株主権行使の件

②第9回定時評議員会

開催日：平成28年6月9日（木）

出席者：評議員 8 名、理事 4 名、監事 2 名

審議事項の内容

- ・ 第 5 期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）事業年度事業報告及び計算書類の承認

③第 16 回理事会

開催日：平成 29 年 3 月 14 日（火）

出席者：理事 6 名、監事 1 名

審議事項の内容

- ・ 平成 28 年度事業計画及び同年度収支予算の承認の件
- ・ 定時評議員会の招集の件
- ・ 株主権の行使の件